

同志社大学

# 評論・社会科学

社会学 社会福祉学 メディア学 産業関係学 教育文化学

## 《論文》

上司の働きぶりが部下に対して与える影響

——上司の仕事中毒は部下に感染するのか——

松 山 一 紀 ( 1 )  
櫻 井 映 海サーバント・リーダーシップと性格特性因子ビッグファイブが、  
フォロワーシップ行動に与える影響松 山 一 紀 ( 19 )  
白 築 茉 耶 介  
中 山 敬

生活者としての中国人介護労働者の実態

——インタビュー調査を通して——

郭 芳 ( 39 )

草月アートセンター催事「饒舌の映像—テレビ・コマーシャル・フィルム」  
(1968年)が広告界に与えた影響

竹 内 幸 絵 ( 59 )

韓国における児童虐待事犯教育プログラムの効果  
に関する統合的アプローチ朴 順 龍 ( 91 )  
姜 民 護

ソーシャルワーカーの専門的態度の養成への先駆的な試み

——『ロンドンの貧困者訪問員のためのハンディブック』(1874)

における「訪問員への一般的提案」から——

菊 池 留 美 ( 107 )

中国における高学歴女性のワーク・ライフ・バランス

——若年層女性社会人と働く育児女性へのインタビュー調査を通して——

邵 博 雅 ( 125 )

## 《研究ノート》

インターネット時代の新聞のビジネスモデルに関する考察 伊 藤 高 史 ( 179 )

## 《書評》

石田光男・上田真士 編著

『パナソニックのグローバル経営——仕事と報酬のガバナンス——』

富 田 義 典 ( 197 )

Inagami, T. and D. Hugh Whittaker

The New Community Firm : Employment, Governance

and Management Reform in Japan.

霜 永 智 弘 ( 213 )

同志社大学社会学会

No. 145  
2023年5月

## 「評論・社会科学」編集規定・執筆要領

### 編集規定

1. (性格・名称) 本誌は、同志社大学社会学会の機関誌「評論・社会科学」Social Science Review と称する。
2. (目的) 本誌は、原則として社会学部専任教員の研究成果の発表にあてる。
3. (投稿資格)
  - 1) 社会学部・社会学研究科専任教員
  - 2) 社会学部・社会学研究科所属の客員研究員・客員教員
  - 3) 大学院社会学研究科博士課程（前期課程・後期課程）の学生
  - 4) 社会学部・社会学研究科設置科目担当の嘱託講師
  - 5) 社会学研究科博士課程（後期課程）に3年以上在学して予備審査に合格のうえ退学し、退学日から3年以内の者
  - 6) 編集委員会が適当と認めた者
4. (発行) 本誌は、原則として1年4回発行するものとする。
5. (内容) 本誌に、論文・研究ノート・書評・資料などの各欄を設ける。
6. (編集) 本誌の編集は、社会学会選出の編集委員が担当する。
7. (執筆要領) 本誌への原稿提出は所定の執筆要領による。
8. (査読)
  - 1) 社会学部専任教員および学会内外の有識者より若干名の査読委員を選出する。  
査読委員の任期は1年とする。
  - 2) 査読委員は、編集委員の求めに応じて原稿を査読する。
  - 3) 編集委員は、査読委員の意見をふまえ、編集にあたる。
9. (査読審査) 3の投稿資格を有する者のうち、3)の後期課程の学生、および、5)に該当する者は査読審査を希望できる。
10. (投稿料) 非会員は会費相当額を支払う。

### 執筆要領

1. 本誌に発表する論文等は、未発表のものに限る。
2. 原稿の提出希望者は、あらかじめ編集委員会からのアンケートによって、各年度当初に年間の本誌該当号への提出希望と原稿の種類を記入する。
3. 原稿の長さは概ね400字原稿用紙100枚以内が望ましい。
4. ワープロ、パソコン使用（以上はフロッピー、原稿ともに提出）、手書き原稿のいずれも可とする。
5. 原稿は英文タイトルを付して提出する。論文・研究ノート・資料については英文要約（約180語）を併せて提出する。
6. 本誌に掲載された論文は、編集委員会の上を承を経て他のメディアに掲載されることがある。

1997年4月1日施行  
1999年4月1日改正  
2001年7月4日改正  
2004年6月16日改正  
2005年9月14日改正  
2009年9月30日改正  
2016年6月7日改正  
2019年5月22日改正

# 同志社大学社会学会会則

2004 年 6 月 16 日社会学会評議員会決定

改正 2005 年 4 月 13 日

改正 2005 年 7 月 13 日

改正 2007 年 5 月 30 日

改正 2016 年 5 月 25 日

改正 2018 年 5 月 23 日

## 第 1 条

本会は同志社大学社会学会と称し、事務所を同志社大学社会学部内におく。

## 第 2 条

本会は社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学およびそれら関連諸学の研究を助成し、会員相互の学術研究の交流ならびに同志社大学の発展に寄与することを目的とする。

## 第 3 条

本会は以下の会員をもって組織する。

1. 同志社大学社会学部に所属する教授、准教授、助教
2. 同志社大学社会学部および同志社大学大学院社会学研究科の学生
3. 評議員会が推薦した者

## 第 4 条

本会は第 2 条の目的を達成するために以下の事業を行う。

1. 機関誌『評論・社会科学』の刊行
2. 研究会および講演会の開催
3. その他必要な事業

## 第 5 条

本会に以下の役員をおく。

1. 評議員：社会学部に所属する教授、准教授、助教

2. 会長 1 名：評議員の互選による

3. 編集委員 5 名：各学科 1 名、評議員の互選による

なお、委員長を委員の互選で定める

4. 会計委員 1 名：評議員の互選による

5. 会計監査 1 名：評議員の互選による

6. 学生委員 必要に応じておくことができる

7. 院生委員 必要に応じておくことができる

## 第 6 条

評議員を除く他の役員の任期は、会長、編集委員の 2 年以外はすべて 1 年とする。

ただし、再任をさまたげない。

## 第 7 条

会員は下記の会費を納めることを要する。

1. 年額 5,000 円

## 第 8 条

本会規則の改正変更は評議員会の決議による。

## 附則

1. この規則は 2018 年 4 月 1 日から施行する。

## 評論・社会科学 第 145 号

(非売品)

2023 年 5 月 25 日 印刷

2023 年 5 月 31 日 発行

### 編集・発行

### 同志社大学社会学会

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル

TEL 075-251-3441 FAX 075-251-3041

会 長 吉 田 亮 (教育文化学科)

編集委員長 山 田 礼 子 (教育文化学科)

編 集 委 員 森 千香子 (社会学科)

木 原 活 信 (社会福祉学科)

水 出 幸 輝 (メディア学科)

三 吉 勉 (産業関係学科)

印 刷 協 和 印 刷 株 式 会 社

〒615-0052 京都市右京区西院清水町 13

TEL 075-312-4010 FAX 075-312-4011

DOSHISHA UNIVERSITY  
**HYORON SHAKAIKAGAKU**  
SOCIAL SCIENCE REVIEW

**CONTENTS**

---

《Articles》

Influence of Supervisor's Work Style on Subordinates :  
Can a Boss's Workaholism Infect His Subordinates? Kazuki Matsuyama  
Eimi Sakurai ( 1 )

The Influence of Servant Leadership and the Big Five Personality  
Trait Factors on Followership Behavior Kazuki Matsuyama ( 19 )  
Maya Shiratsuki  
Keisuke Nakayama

The Reality of Chinese Care Workers as Consumers :  
Through Interview Survey Hou Kaku ( 39 )

The Influence of the Sogetsu Art Center Event  
“Eloquent Images: TV Commercials and Films” (1968) on Advertising  
Yukie Takeuchi ( 59 )

An Integrated Approach to Analyzing the Effectiveness of an Educational  
Program for Child Abuse Offenders in South Korea Soonyong Park ( 91 )  
Minho Kang

Pioneering Attempt at the Training of Professional Attitude of Social Workers :  
From “general suggestions to visitors”  
in “A Handy-book for Visitors of the Poor in London” (1874)  
Rumi Kikuchi (107)

Work-Life Balance of Highly Educated Women in China :  
An Interview Study with Young Working Women and Working Mothers  
Boya Shao (125)

《Note》

A Study of Newspaper Business Models in the Internet Era Takashi Ito (179)

《Book Reviews》

Ishida, M. and M. Ueda (eds)  
The Global Management of Panasonic Co., :  
Governance of Work and Pay Yoshinori Tomita (197)

Inagami, T. and D. Hugh Whittaker  
The New Community Firm : Employment, Governance  
and Management Reform in Japan. Tomohiro Shimonaga (213)

---